

都 退 教 協 だ よ り

No.278号

2016年6月21日発行

東京都退職教職員協議会 会長 柴田 廸春

〒101-0003 千代田区一ツ橋 2-6-2 日本教育会館 2F 東京教組内

☎:03-5276-1311 FAX:03-5276-1312 Mail:totaikyokyo@tokyokyouso.org

支え合い 助け合う 第88回メーデー中央大会

長時間労働撲滅！ディーセントワークの実現！

晴天の連休初日4月29日、代々木公園で中央メーデーが開催されました。都退教協からも多くの会員が参加し、現職の皆さんとも交流することができました。

神津連合会長は、「誰もが希望を持って働き、女も男も仕事と生活を両立できるように労働時間を最適化しなくてはならない」と大幅な時間外労働を容認する安倍政権を批判し、格差・貧困の拡大に危機感を示すとともに、野党や世論にも働きかけ労働法制の改悪を阻止する決意を述べました。



会員各位

都退教協 第43回定期総会 開催通知

安保法制の施行により「戦争をする国」へと大きく舵を切った安倍政権は、治安維持法の復活とも言える共謀罪の強行採決を目論むとともに、憲法改悪へと突き進んでいます。

このような事態の中で行われる東京都議会議員選挙（7月2日投票）は、安倍政権の横暴を許さない民意を問う重大な選挙です。

子や孫に平和憲法を引き継ぎ、私たちが安心して生活できる社会を実現する退職者の運動が求められる中、都退教協の今年の運動方針を論議する第43回定期総会を下記のとおり開催します。

東京教組・都退教協はあべ祐美子（品川）、関口太一（世田谷）の必勝を期してたたかっています。都議会議員選挙直後の開催となりますが、会員の皆さんと膝を交えてじっくり話し合える総会にしたいと考えています。多くの会員の皆様のご出席と活発な討議を期待しておりますので是非ともご参加ください。（議案書は、P2～P7に掲載しています。）

記

- 1、日 時 7月12日(水)
午後2時開会～4時閉会
- 2、会 場 日本教育会館2階 東京教組会議室
- 3、議 事 ①2016年度 経過・決算報告 ②2017年度 活動方針・予算案
③2017年度 役員人事 ④総会宣言 ⑤その他

5.3 憲法集会に5万5000人

5月3日、五月晴れの有明防災公園で憲法集会が開催されました。

違憲の安全保障関連法＝戦争法が施行され、2020年までに「憲法改正」を安倍首相が明言する中で開催された憲法集会は、「施行70年

いいね！日本国憲法-平和といのちと人権を-」をかかげて昨年を上回る5万5千の人々が有明防災公園に結集しました。

ピーコさんや落合さん、野党各党の発言につづき、山城博治さんが沖縄のたたかひの報告。

「辺野古の埋め立て工事の着工が報道されているが、実態は稲嶺名護市長や翁長県知事の権限のハードルを越えなければ本格的な工事はできない。沖縄は決して屈しない。保釈の制限があり、座り込みの現場にはいけないが、その代わりに全国をかけめぐって訴えてい



きたい。6月10日の国会包囲行動への参加、共謀罪廃案・安倍内閣の打倒を」など辺野古への支援を訴えました。不当な長期拘留にもかかわらず元気な姿で「沖縄を返せ」などの歌を歌い、山城博治節炸裂！

最後に高田さんから沖縄の民意の尊重を求めた署名が140万筆集まったこと、6月10日の辺野古新基地反対国会包囲行動、共謀罪阻止などが提起され、デモ行進をして終了しました。

(谷口記)

2017年度 第43回 都退教協定期総会 議案書

2016年度経過報告（案）

米国のトランプ政権による保護主義と武力による緊張、英国のEC離脱と難民に対する排外的な動きや極右政党の台頭、朝鮮をめぐる軍事的緊張など世界は激動の時代を迎えています。世界は、戦争の回避と経済的な協調ができるかどうかの岐路に立たされ、国際協調、平和主義の憲法を持つ日本の役割を果たすことができるかが問われています。

しかし、憲法施行70年の今年、安倍首相は2020年改憲を明言しました。すでに安倍自公政権は、憲法違反の国家秘密法（2013）、平和安全法制整備法案（戦争法2015）、盗聴法（2016）を成立させています。今国会ではテロ等準備罪（共謀罪）が審議入りし、憲法を法律で破壊しつつ憲法改悪へと突き進んでいます。

これら暴挙に対し国会前では連日、共謀罪に反対する市民が抗議行動を行い、5月3日の憲法集会には55,000人が結集しました。都退教協も、東京教組とともに連日の集会、共謀罪反対署名にとりくみました。

また、沖縄では県民の民意を踏みにじり、高江のヘリパット工事、辺野古米軍新基地の埋め立て工事を強行するとともに、基地建設反対運動の中心で活動していた山城博治沖縄平和運動センター議長をはじめ多くの人を不当に逮捕、5ヶ月以上も拘留する暴挙を働いています。引き続き沖縄県民の意思を尊重し、辺野古新基地建設を断念し、速やかに普天間基地の全面返還するよう闘いを継続させることが重要です。

東日本大震災・東電福島第1原発事故から6年。未だに約12万人もの人々が避難を強いられるなか、4月には住宅費の補助打ち切りを強行し、復興相が「自己責任」と発言し辞任する事態まで引き起こしています。

一方、電力各社は福島第1原発事故の検証も不十分なまま原発再稼働を進め、事故の責任すら取ろうとしないばかりか、事故処理費用を電気代に転嫁しています。安倍政権は、原発をベースロード電源と位置づけ、熊本大震災(2016/4/14, 16)、桜島噴火が起きた後も、川内原発を営業運転し続け、さらに伊方原発などの再稼働をしました。

安倍首相が自画自賛する「アベノミクス」の失敗はあきらかです。為替と株価操作に明け暮れ、私たちの年金資産 GPIF にも手をつける一方、「働き方改革」などと言いつつ、派遣労働者の大幅増、介護保険、高齢者医療制度などを削減し、私たちの生活を圧迫し続け格差を拡大しています。特に、子どもの貧困は深刻で、家庭の教育資産の減少が子どもの受ける教育の質を低下させ貧困の連鎖を生み出しています。

2025年には団塊の世代が75歳以上となり、3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上となり少子高齢化に拍車がかかります。医療・介護サービスの提供体制が今のままでは十分対応できないとして、政府は社会保障の負担増と給付抑制を柱とする2020年までの改革工程を視野に、高齢化による社会保障費増加分5,000億円などを抑制する法案を準備しています。

1. 組織強化の取り組み

退職者への加入呼びかけにより9人が加入した一方、退会者は亡くなった方を含め5人を数え会員数は微増です。都退女教とは、都退協共催の学習会に参加するなど協働の行動を積み重ね退職者全体の組織拡大にとりくみました。

2. 憲法改悪阻止・平和を守る取り組み

安倍政権の戦争ができる国づくり、改憲策動に対し、「戦争をさせない・9条壊すな！総がかり行動実行委員会」や「平和憲法を守る東京ネット」などの集会に参加し、「5・3憲法集会」をはじめ署名、国会前座り込み行動、各種学習会に参加しました。

3. 脱原発社会実現・東日本大震災からの復興・辺野古新基地建設反対の取り組み

未だに大量の汚染水を流し続け、山積みの核廃棄物の行き先も定まらず、事態収束には程遠い原発事故の責任究明と、政府の再稼働や原発輸出など命より経済の優先の政策を是正させる活動に取り組みました。

東日本、熊本大震災被災地の復興、辺野古新基地建設反対の運動支援のカンパ活動には68,000円が会員から寄せられ、日退教を通じて被災地、辺野古にカンパしました。

4. 後期高齢者医療制度廃止・社会保障充実の取り組み

保険料負担増、給付の抑制など高齢者社会保障改悪の実態を「都退教協だより」により会員に具体的に知らせるとともに、医療・福祉制度の後退に歯止めをかけるために日退教、東京高退連、都退協とともに取り組みをすすめました。

5. 年金制度に対する取り組み

マクロ経済スライドの調整にキャリーオーバー制度を導入するとともに、昨年度は私たちの年金が削減されました。一方、GPIF(年金積立金管理運用独立行政法人)の株式投資拡大による損失や大量殺人兵器クラスター弾製造会社の株式約80億円を保有していたことも明らかになっています。

東京高退連、日退教とともに年金制度改悪反対、GPIF運用の適正化にとりくみました。

6. 税制に対する取り組み

消費税の逆進性(低所得者ほど負担が大きい)により消費が低迷するとともに、消費税増

税分が社会保障に充てられず、法人税大幅軽減や公共事業等に回されています。累進課税を強化し富の再配分による低所得者対策を求めて取り組みを進めました。

7. 公務員制度改革に対する取り組み

労働基本権も与えないまま、人事考課に基づく賃金差別、本給の引き下げ・退職金削減、定数削減が行われています。また、教職員の過重労働が社会問題になる中、現退一致の取り組みで、労働時間短縮、定員増を求めて、公共サービスの確立の取り組みを進めました。

8. 安倍「教育改革」の危険性と民主教育を守る取り組み

「教育勅語」容認の閣議決定、道徳の教科化、教科書介入（パン屋を和菓子屋へ）など安倍教育改革は改憲と一体になっています。一方、『「君が代」処分撤回を求める会』の裁判は、最高裁で処分取り消しの判決が出るなど都教委の処分の不当性が明らかになっています。安倍「教育改革」に反対する取り組みを現職とともに進めました。

9. 「朝鮮高級学校授業料無償化」に対する取り組み

高校生を原告とする無償化裁判、集会への参加、朝鮮学校へのカンパなどを通して、「無償化」を求める活動を行ってきました。

2016年度業務日誌

2016年7月～2017年6月

7月6日(水)13:00 役員会
14:00 都退教協第42回総会
7月12日(火)15:00 都退協幹事会(都庁10F)
7月20日(水)13:00 三役会
東水労退職者会総会
7月29日(金)13:30 地公退総会(ラポール麹町)
8月1日(月)14:00 都退協総会(都庁32F)
8月17日(水)13:00 役員会(273号発送)
8月19日(金)18:30 沖縄連帯、戦争させない国会前集会
8月30日(火)13:30 日本高退連年金学習会
9月19日(月)16:00 戦争法1年国会前集会
9月21日(水) 13:00 三役会
9月22日(木) 12:00 さよなら戦争法、さよなら原発集会(代々木公園)
9月23日(金) 10:00 都退教協・都高教退職者会囲碁大会(ナベールお茶の水)
13:00 日退教関東ブロック組織活動報告集会
9月27日(火) 13:30 地公退高齢者集会(日本教育会館)
9月28日(水) 13:00 退職者連合高齢者集会(文京シビックホール)
10月12日(水)11:00 五者合同学習会(ラポール日教済)
10月13日(木)10:00 日退教組織活動交流集会

(ラポール日教済)

10月14日(金)14:00 東京高退連総会
10月19日(水)13:00 役員会(274号発送)
10月23日(日)13:30 横田集会(多摩川中央公園)
11月7日(月)11:00 都退教協秋の交流会
11月16日(水)13:00 三役会
11月19日(土)14:00 総がかり行動(国会前)
11月25日(金)都庁職退職者会総会
12月10日(土)14:00 国際立憲主義の実現を集会(青山学院本多記念国際会議場)
13:30 辺野古新基地建設を許さない集会(日比谷野音)
12月19日(月)18:30 総がかり行動(国会前)
12月20日(火)14:30 辺野古最高裁判決集会
12月21日(水)13:00 役員会

2017年

1月18日(水)13:00 三役会
1月19日(木)18:30 総がかり行動(衆議院第2議員会館前)
1月25日(水)～26日(木)地公退宿泊学習会(箱根路開雲)
2月9日(木)14:00 東京高退連学習会(田町交通ビル3F)
2月11日(土)18:30 憲法と「建国記念日」を考える2・11集会(連合開館2F)

2月11日(土)9:00 日朝教育交流集会 (東京朝鮮中高級学校)
 2月15日(水)13:00 役員会 (276号発送)
 2月19日(日)15:00 あべ祐美子(組織内都議候補) 新春のつどい (アワーズ北品川)
 2月19日(日)13:15 総がかり行動
 (日比谷野外音楽堂)3
 2月22日(水)18:30 狭山差別裁判東京集会
 (田町交通会館)
 3月12日(日)~13日(月) 都退協宿泊学習会
 (箱根路開雲)
 3月15日(水)13:00 三役会 (日退教会議室)
 3月18日(土)13:10 原発いらない福島県民集会
 (郡山市開成山競技場)
 3月19日(日)13:30~
 共謀罪反対国会議員会館前行動
 3月20日(月)13:00 さよなら原発全国集会
 (代々木公園)
 4月4日(火)11:00 花見 (新宿御苑)
 4月6日(木)18:00 共謀罪反対集会(日比谷野音)

4月14日(金)14:00 高退連街頭宣伝 (巣鴨駅前)
 4月18日(金)16:30 辺野古新基地反対集会
 4月19日(水)13:00 役員会・277号発送
 4月29日(土)11:00 メーデー (代々木公園)
 5月3日(水)12:00~憲法集会(有明防災公園)
 5月15日(月)18:30 あべ祐美子を励ます会
 5月16日(火)18:30 「共謀罪法案廃案!連続行動」日比谷野音集会
 5月17日(水)13:00 拡大三役会
 6月2日(金)14:00 日退教関東地協定期総会
 (ラポール日教済)
 6月3日(土)14:00 辺野古新基地建設、共謀罪反対、国会包囲行動
 6月9日(金)11:00 日退教定期総会
 (教育会館701会議室)
 6月16日(金)13:00 東交退職者会総会
 (田町交通ビル)
 6月21日(水)13:00 役員会・278号議案発送

2017年度

来年2018年は「戊辰」から150年です。その内、半分以上の77年間は「戦前」でした。安倍政権と取り巻き勢力は、2020年オリンピック・パラリンピックを一大イベントとし、憲法改悪をも狙っています。

「戊辰」以降、いわゆる「維新」と称する薩長土肥の各藩を中軸とする「クーデター」は、比較的強力な「暴力装置」(近代兵器を多数有していた軍隊)があつて初めて実現したものです。その後これら各藩出身者は中央・地方の権力の中樞を占め、数々の攻略・侵略を国内外に繰り返してきました。(1872年沖縄「併合」・1874年台湾攻略・1875年朝鮮江華島砲撃占拠等々)

一方、国民に対しては過酷な税制、国民無視の経済政策(松方デフレ)、加えて膨大な戦費調達等々、多大なる犠牲を強いてきました。この間、強制を伴う徴兵・徴用で国民を駆り出し、数百万人の人々を死に追いやりました。こうした歴史的事実にこそ目を向けなければ

活動方針案

なりません。

他方、グローバリズム世界の人々に安定と将来性ある社会を保障するどころか、「強い者はより強く」「富める者はより富める」格差拡大の状況をもたらしています。トランプ大統領の出現、イギリスのEU離脱、シリアへの武力行使と難民増大、朝鮮半島の軍事的緊張などなどを世界的な自国ファーストの動きに対し、日本国憲法の根幹である平和主義、国際協調主義による役割を果たすべきです。

安倍政権は「支持率維持」のため、「消費税増税」の三度延期により、ひたすら「延命策」に走っています。また、「違憲」立法を「多数」で成立させ、既成事実の「積み上げ」で、「憲法改憲」にひた走っています。自分に都合が悪ければ「無かったことにする」やり方で逃げまくっています。

GDPは伸びず、生活保護世帯は増加の一途をたどっています。私たちの年金は引き下げられ、予算の削減で大幅に削られた社会保

障費により、介護保険対象者の縮減が一層進み、医療費の自己負担増など、弱者切り捨てが進行しています。私たちはこうした中で、「安心安全な社会実現」のため、一歩でも前へ進めるべく、今後1年間の取り組みを以下に提起します。

- 1) 都退教協の組織的強化を図り、会員のさらなる増加に努めます。会員同士の交流・情報交換・親睦を深めるとともに、女性参画をすすめます。未加入の人に呼びかけ、手を携えて運動に取り組みます。
- 2) 改憲阻止に向け、諸団体と連携して取り組みます。現憲法の内容が一人でも多くの人のものとなるよう努めます。
- 3) 原発再稼働を許さず、脱原発社会実現に向け、エネルギー政策転換に取り組みます。被災者の意思に基づく救済、復興の態勢づくりを強く要求していきます。
- 4) 社会保障制度確立と目的に沿った政策

の実現に向け、運動に取り組みます。後期高齢者医療制度廃止、引き続き高齢者本位の介護・医療・年金・生活保障の充実を求め、都退協・日退教・高退連に結集して取り組みます。

- 5) 税制の抜本改正、累進課税による所得再配分で格差是正、貧困化緩和を実現します。
- 6) 労働基本権剥奪、賃下げ、定数削減などの公務員攻撃に対し、現退一致で取り組みます。
- 7) 「君が代」処分と「10.23 通達」撤回を要求して取り組みます。
- 8) 「朝鮮高校授業料無償化」実現を他団体と連帯して取り組みます。
- 9) 憲法改悪阻止、辺野古新基地建設反対、共謀罪阻止、に向けて国会前行動など各種集会に一人でも多くの会員参加を進めます。

都退教協 2016 年度決算報告

収入の部 (単位 円)				
項目	予算額	決算額	増 減	内 容
年会費	340,000	280,000	△60,000	2,000×170名
雑収入	75,000	76,014	1,014	日退教他
カンパ会計より戻入	0	138,199	138,199	
繰越金	0	0	0	
合 計	415,000	494,213	79,213	

支出の部				
項 目	予算額	決算額	増 減	内 容
会議費	10,000	0	10,000	関ブロ総会
行動費	150,000	211,802	△61,802	動員費補助・役員会
事業費	130,000	157,345	△27,345	会報印刷発送・事務費
分担金	89,324	89,216	108	日退教・都退協・関ブロ
雑 費	35,676	35,850	△174	慶弔・振替手数料
合 計	415,000	494,213	△79,213	

2016年度 特別会計(カンパ会計)決算				
項目	収入	支出	残額	内 容
繰越金	280,492		280,492	
カンパ金	153,500		433,992	
利息	5		433,997	
一般会計戻入		138,199	295,798	赤字補填

都退教協 2017年度予算(案)

収入の部 (単位 円)				
項目	17年度予算	16年度予算	増 減	内 容
年会費	300,000	340,000	△40,000	2,000×150名
雑収入	75,000	75,000	0	
繰越金	0	0	0	
カンパ会計より戻入	120,000	0	120,000	2017年度より起項
合 計	495,000	415,000	80,000	

支出の部				
項目	17年度予算	16年度予算	増 減	内 容
会議費	10,000	10,000	0	関プロ総会
行動費	200,000	150,000	50,000	動員費補助・役員会
事業費	160,000	130,000	30,000	会報印刷発送・事務費
分担金	89,324	89,324	0	日退教・都退協・関プロ
雑 費	35,676	35,676	0	慶弔・振替手数料
合 計	495,000	415,000	80,000	

2017年度 特別会計(カンパ会計)予算(案)				
項目	収入	支出	残額	内 容
繰越金	295,798		295,798	
カンパ金	150,000		445,798	
利息	10		445,808	
一般会計戻入		120,000	325,808	



東京都退職教職員囲碁大会のお知らせ

退職教職員生きがい支援協

会の支援事業の一つとして、「退職教職員全国囲碁大会」を毎年11月に日本棋院で開催しています。各都道府県大会と8つの地域ブロック大会で勝ち抜いた棋士だけが出場できます。

都退教協と都高教退職者会は、東京都代表を選出するために共催で標記の大会を下記の要領で開催いたします。例年ですと9月上旬の予定ですが、今年は都高教退職者会の都合により、期日を早めましたので、お間違いな

いよう気をつけてください。

東京都代表に選出されることが最大の目的ですが、同好の方々と勝敗抜きで囲碁を楽しみ、都高教退職者会の仲間と交流を深めることもできます。

初心者の方でもかまいません、同好の皆さまと囲碁を楽しみませんか。昼食と飲み物は事務局で用意いたします。参加者全員に参加賞を、各階級上位者には、賞品を差し上げます。みなさまの応募をお待ちしております。

記

1. 日時 7月14日(金) 午前10時～

2. 場所

東京都教職員互助会ナーベル御茶ノ水
2階 会員集会室(東京医科歯科大学と
順天堂大学の間の坂を上り、ローソンの
先を右に入り2階へ)

3. 資格

都退教協会員(2017年度会費納入者)
及びその家族(60歳以上)2017年度会
費は当日納入でも可。

4. 階級 Aクラス-無差別(段級の制限なし)

Bクラス-2段～5段

Cクラス-初段以下～初心者

※各階級から上位2名が代表選手として、
関東ブロック大会に出場でき、ブロック大
会各階級優勝者が全国大会に出場できます。

5. ルール

(詳細は当日プリントを配布します。)

Aクラス-握りで先番を決め、黒番は6目半コ
ミ出しとする

Bクラス-段差があるときは、段差に応じて置
き碁とし、ジゴ白勝ち。同段の時はAクラス
と同様にする。

Cクラス-1～5級差の時はBクラスと同様に
し、6級差以上の差は3子とする。

※Aクラス、Bクラスの対局には対局時計を
使用する。(持ち時間、各40分)、Cクラス
は1時間過ぎて対局が終わらないければ対
局時計を使用する。(持ち時間各10分)

5. 参加費 1人500円(大会当日集金)

6. 申し込み

ハガキ、FAX(03-5276-1312)、
メール(totaikyokyo@tokyokyouso.org)
で、名前、連絡先と囲碁大会参加の旨記
入して都退教協あてに7月7日までにお
申し込みください。

編集後記

* 都議選真っ只中の議案書、会報づくりは辛かったが何とか発行にこぎつけました。あべ祐美子さん(品川)、関口太一さん(世田谷)への応援よろしくお祈いします。

* 森友、加計疑惑から逃れんと共謀罪を参議院で強行採決して国会を閉じたい自公政権。そうはさせまいと踏ん張る野党。国会前は連日、市民が詰めかけ声を上げている。総理も議員もやめると豪語した安倍晋三はモリカケ共謀で退陣して当然である。

* 戦争法、共謀罪、改憲阻止などの行動により、役員らの行動費が逼迫しカンパ会計から補てんしてしのぎました。カンパについても引き続きご協力をお願いいたします。(谷口記)